

## I 千葉県 の道標の分析

道標IDB のデータを使用して、若干の分析を試みた。

### 1 市町村別の状況

市町村	全基数
いすみ市	15
旭市	66
一宮町	5
印西市	92
印旛村	47
栄町	29
横芝町	8
我孫子市	22
鎌ヶ谷市	12
鴨川市	30
館山市	22
鋸南町	5
君津市	56
香取市	146
佐倉市	89
山武市	48
四街道市	36
市原市	171
市川市	48
芝山町	16
酒々井町	28
習志野市	7
勝浦市	1
松戸市	55
神崎町	13
成田市	116
千葉市	124
船橋市	56
匝瑳市	25
袖ヶ浦市	57
多古町	51

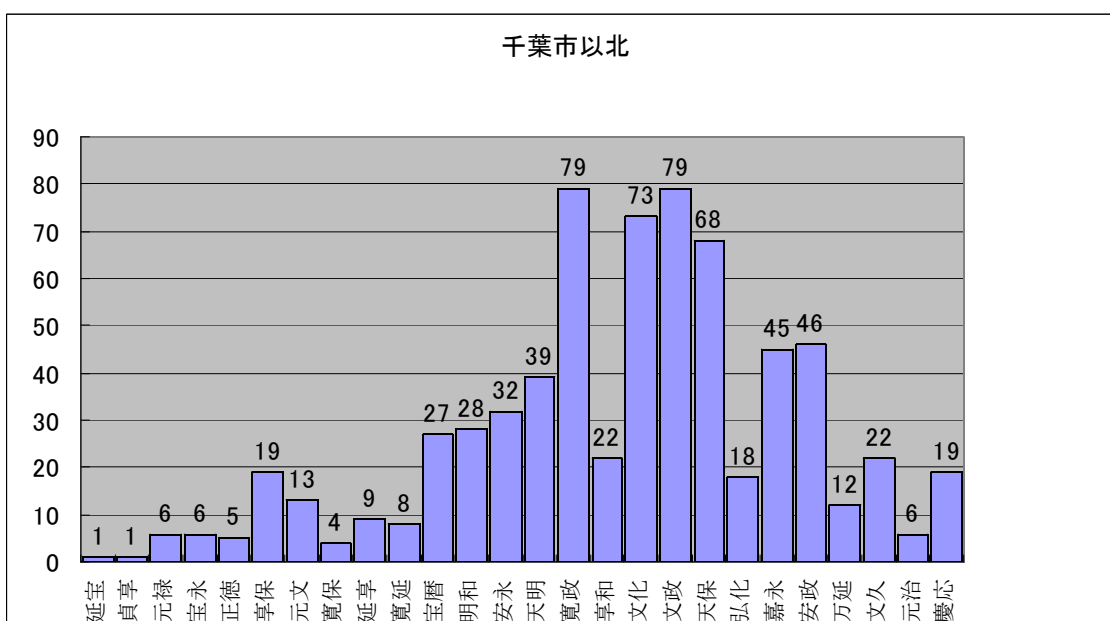
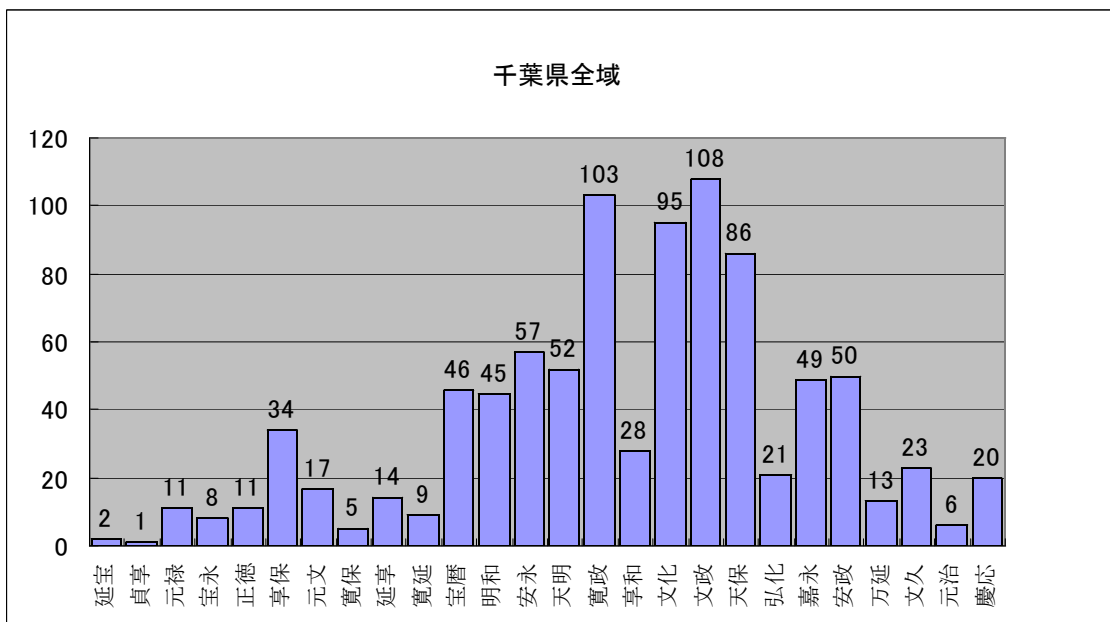
市町村	江戸時代基数
いすみ市	12
旭市	27
一宮町	2
印西市	41
印旛村	17
栄町	12
横芝町	2
我孫子市	17
鎌ヶ谷市	6
鴨川市	13
館山市	13
鋸南町	4
君津市	46
香取市	61
佐倉市	25
山武市	12
四街道市	13
市原市	87
市川市	29
芝山町	8
酒々井町	9
習志野市	4
勝浦市	0
松戸市	13
神崎町	11
成田市	72
千葉市	56
船橋市	28
匝瑳市	9
袖ヶ浦市	39
多古町	27

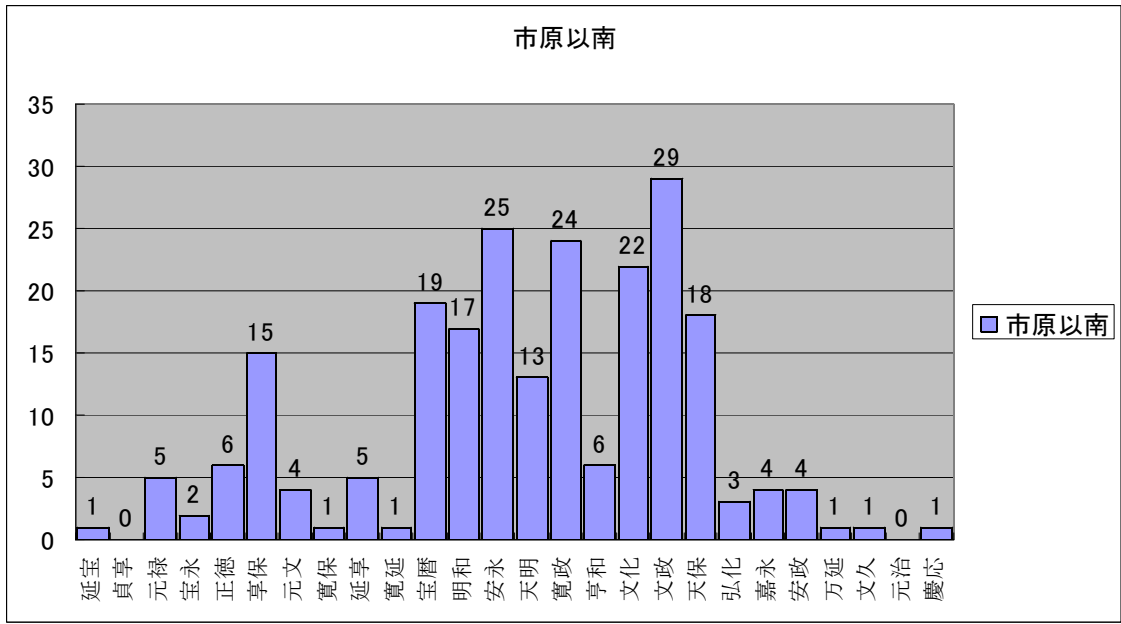
大多喜町	4
大網白里町	21
銚子市	46
長生村	1
長南町	29
長柄町	28
東金市	4
東庄町	34
南房総市	25
柏市	51
白井市	66
八街市	18
八千代市	105
富津市	22
富里市	23
睦沢町	7
本埜村	22
茂原市	4
木更津市	81
野田市	152
流山市	15
計	2254

大多喜町	2
大網白里町	0
銚子市	21
長生村	1
長南町	1
長柄町	6
東金市	1
東庄町	19
南房総市	9
柏市	26
白井市	13
八街市	1
八千代市	28
富津市	17
富里市	3
睦沢町	3
本埜村	12
茂原市	3
木更津市	58
野田市	104
流山市	14
計	1057

札所塔を除く

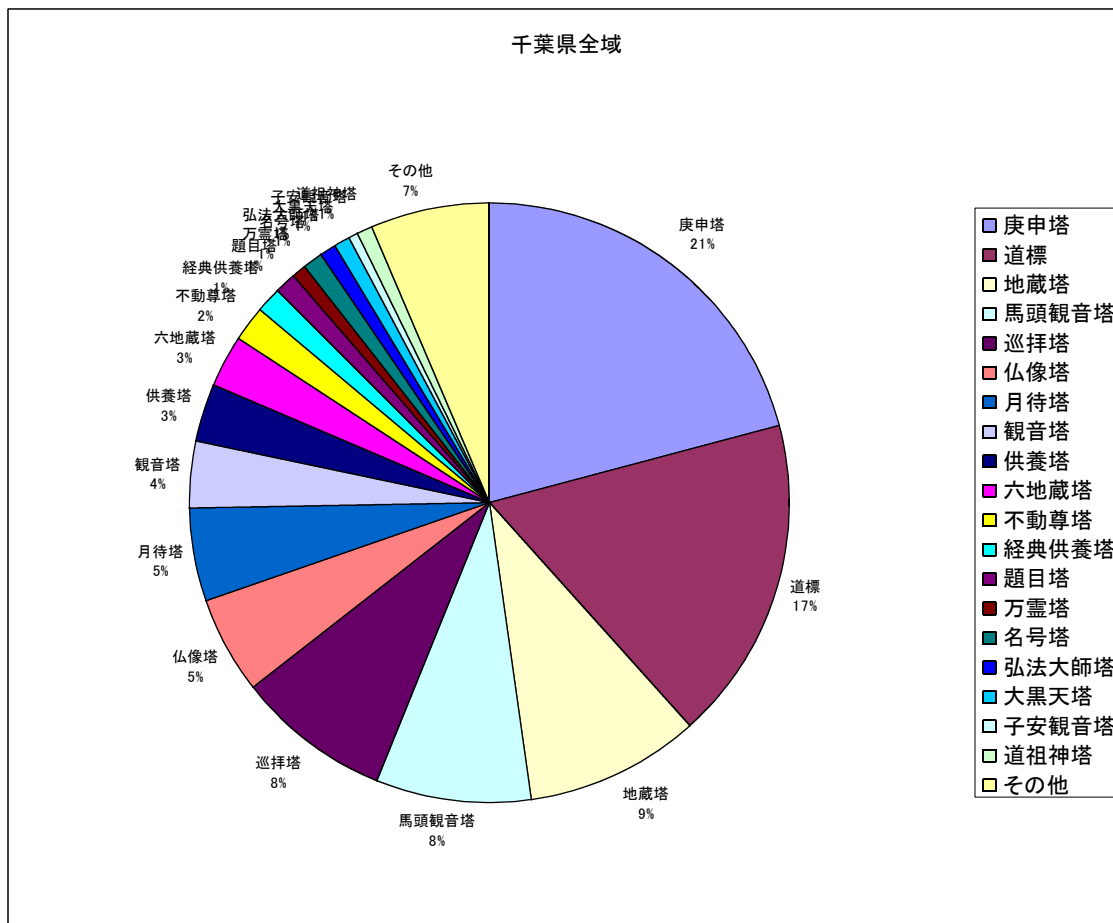
2 江戸時代の年代別の状況



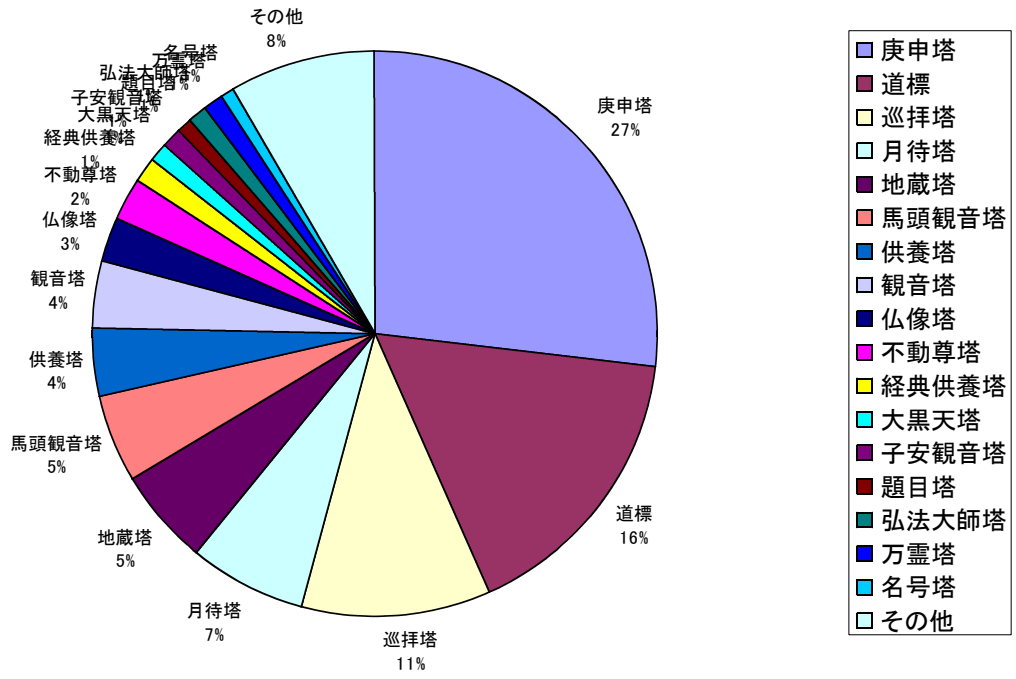


### 3 塔種別の状況

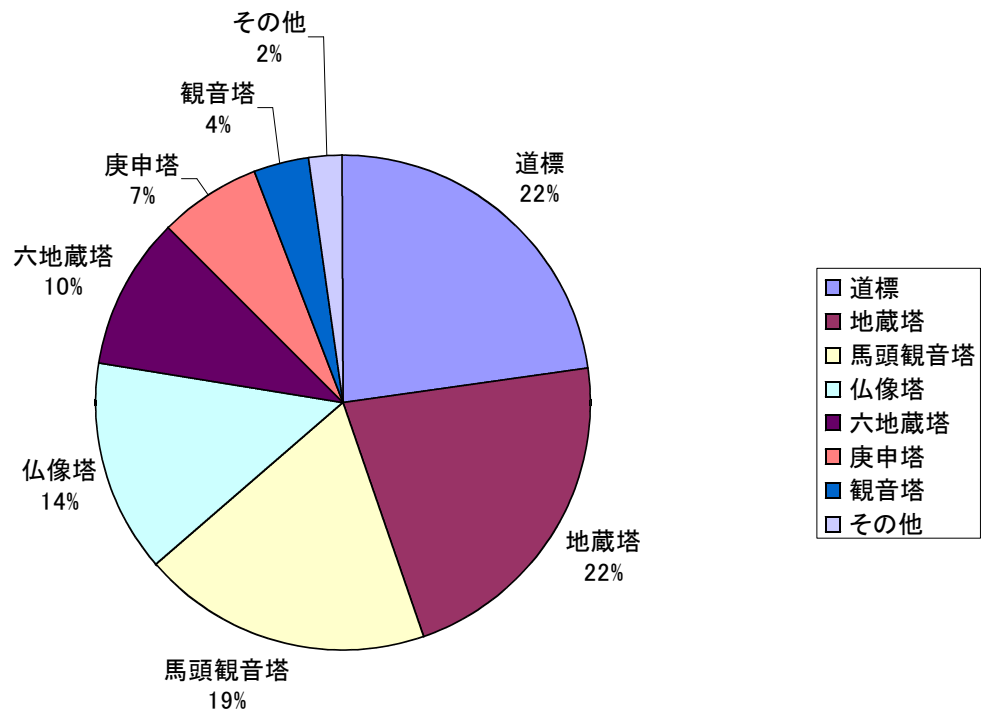
塔種の分類（クラスター）は、いろいろ考えられる。その一例である



千葉市以北



市原市以南



## 日本の道標―道しるべ―みちしるべ

「彼岸花 仏の眼には道しるべ」 インターネットのブログで見つけた大聖さんの一句ですが、濡標―濡つくしーみおつくしと並んで、癒しのまた励ましの感じがする言葉です。

広辞苑では、「道路を通行する人の便宜のため、木・石などに方向・距離などを記し路傍に立てた標示物」と味も素っ気もありません。

道標の歴史はあまり系統的に調べられたものはないようですが、高野山関係の文献によりますと、高野山の町石（一般的にはチョウセキと読みますが、高野山や後述の勝尾寺では、チョウイシと読むそうです）は鎌倉時代以前は木造の案内標だったものが、文永3年（1266年）以降石造に置き換えられそうですので、一般の道標も最初は木造だったのでしょう。

しかし、当然雨ざらしの木造の道標は朽ち果てて、現存するものは昭和以降に設置されたものばかりです。

最近、インターネット上の情報も沢山になり、道標の情報も発信する方が多くなりましたので、日本国内の古い道標を調べてみました。

その際、一般の道標と町石は、町石の方が古い設置年が記銘されているものが多いことがわかりましたので、分けて調べてみました。

町石は国の指定文化財等になっているものがありますので、それによりました。

もっとも古いものは、宝治元年（1247年）に造設された勝尾寺町石で、「寺の参道に沿って立てられた丁数を示す標識、当時の用語では町卒塔婆」と解説され、山門前ものには下乗と刻し、次いで一町から始まり現在七丁まで遺存しているそうです。

一般の道標は、調査が難しかったのですが、兵庫県宝塚市の教育委員会の市史研究誌や大阪府池田市の冊子などの記事を参考にして、道標であり、町石でないことをそれぞれに確認して、寛文年間（1673年）以前のものでインターネット上に確実な情報のあるものをまとめてみました。附表―1



日本最古の 勝尾寺町石



宝治元年（1247年）11月に建立されました。わが国最古の町石として国指定史跡にされています。

日本最古の記年道標と思われる 宇治館町の道標



伊勢市宇治館町の宇治岳道と磯部道の分岐点に立ち「朝熊岳道 寛永三丙寅年 二月吉日」と記銘されているそうです。

#### 四日市市 日永の道標



三重県四日市市追分1 東海道伊勢街道の分岐点にあたります。明暦二年(1656)に建てられたものが、嘉永二年(1849)に追分神明社に移り、さらに明治時代に日永神社に移されたそうです。記銘には「京」「山田」「南無阿弥陀仏 恵心」「明暦二丙申三月吉日」とあるそうです。

## 河内長野市 小深の道標



大阪府河内長野市小深にあり、記銘は 金剛山道 万治辛丑 とのことです。

### ◎ 多数の道標を建造した願主（二つの例）

#### ① 眞永（坂東33カ所観音巡礼）

28番札所滑川観音から27番札所飯沼観音に至る12基の里程標が願主 眞永として現存しています。いずれも、天明3～4年（1784～5年）に建立されたものです、

#### ② 眞念（四国88カ所大師巡礼）

眞念は江戸初期の僧で貞享4年（1687年）に「四国遍路道指南」という遍路の案内書を出し、また、遍路道の200カ所に道標を建立しています。「眞念さんは四国遍路の基礎を築いた人物」とも言われています。

## 古里程標

番号	造立年月	西暦	府県	所在地	内容	指定
里程01	天平宝治6年	762	宮城県	多賀城市多賀城跡	去京一千五百里他	国指定

## 古町石一覧表

番号	造立年月	西暦	府県	所在地	内容	指定
町石01	宝治元年	1247	大阪府	箕面市粟生勝尾寺旧境内	一丁一七丁	国指定
町石02	建長5年	1253	三重県	上野市西高倉麩補陀落寺	四丁	国指定
町石03	文永3年	1266	和歌山県	伊都郡高野町他179基	町または里	国指定

## 寛文(1673年)以前道標一覧表

番号	造立年月	西暦	府県	所在地	塔種	内容	指定など
道標01	寛永3年	1626	三重県	伊勢市宇治館町	自然石	朝熊岳道 寛永三丙寅年 二月吉日	
道標02	明暦2年	1656	三重県	四日市市日永	自然石	「京」「山田」「南無阿弥陀仏 恵心」「明暦二丙申三月吉日」	
道標03	万治4年	1661	大阪府	河内長野長野市小深	自然石	金剛山道	
道標04	寛文3年	1663	神奈川県	川崎区大師町4-48平間寺	角柱	弘法大師江の道	
道標05	寛文4年	1664	奈良県	宇陀市榛原町檜牧船尾垣内	供養塔	右伊勢本街道 奉供養順礼 ひだりやまみち	
道標06	寛文8年	1668	兵庫県	宝塚市安倉南4-13姉ヶ茶屋三叉路	供養塔	右ハあまがさきみち 左ハいたミノみち	県指定
道標07	寛文8年	1668	兵庫県	宝塚市安倉北1-10-12		右ハいたミノみち 左ハ中山みち	所在不明
道標08	寛文9年	1669	兵庫県	伊丹市北伊丹2丁目	角柱	「南無阿弥陀仏」「左あまがさき・いたみ」「右 ひやうこ・にしのミヤ」	市指定伊丹市博物館所蔵
道標09	寛文10年	1670	大阪府	池田市伏尾町八千代橋西側	名号塔	右かめ山道 左久安寺道	
道標10	寛文10年	1670	神奈川県	横浜市戸塚区	角柱	左りかまくら道	
道標11	寛文11年	1671	大阪府	豊能郡能勢町才の神峠	自然石	右二筋は山道、長谷村。谷は銀山、有馬。左は池田道。桐谷清昌	
道標12	寛文12年	1672	大阪府	箕面市東坊島木戸ヶ池南	角柱	みのお山の入口	
道標13	寛文12年	1672	大阪府	池田市畑町東畑	名号塔	左仏日寺道 右中山道	
道標14	寛文12年	1672	大阪府	池田市東山東山バス停前	名号塔	右ハさい所 左は久安寺かめ山みち	
道標15	寛文13年	1673	奈良県	度合郡紀町金輪	自然石	右山みち 左くまの	